

II 令和3年度事業実施状況

食品の安全・安心への関心が高まる中、更に、畜産経営の大規模化、豚熱及び口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの発生や海外からの家畜伝染病侵入の危険性が増大する等、畜産情勢が変化する中で、安全な畜産物の供給と畜産経営の安定を図るためには、家畜衛生対策を適切かつ円滑に推進することが重要である。

家畜保健衛生所では、家畜伝染病の発生予防と家畜疾病による損耗を防止するための予防衛生対策を講じるとともに、生産段階における家畜の飼養衛生管理基準遵守の徹底を推進するなど、状況の変化に的確に対応しながら各種事業を実施している。

1 家畜伝染病予防事業

家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号 以下「予防法」）の規定に基づき、家畜伝染病及び家畜伝染性疾病の発生とまん延を防止し、家畜飼養者をはじめ、獣医師、市町、関係団体等と連携し家畜防疫体制の強化を図る。

(1) 主な検査と対象家畜

予防法第5条の規定に基づく発生予防又は発生予察のため、主に以下の検査を実施した。

ア ヨーネ病

(ア) 搾乳の用に供し、又は供する目的で飼育している牛及びその同居牛

(イ) 繁殖の用に供し、又は供する目的で飼育している肉用雌牛

イ 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ

100羽以上鶏を飼養している農場のうち、家畜保健衛生所長が選定した農場で飼養されている鶏

ウ 腐蛆病

管内に飼育されている蜜蜂であって、家畜保健衛生所長が必要と認める蜜蜂

エ 牛のアカバネ病、ブルータング

未越夏でワクチンを接種していない牛

その他、公共牧場に放牧された乳用牛に対する定期的な衛生検査(臨床検査、血液検査、寄生虫検査、牛体消毒等)、養豚場の清浄度を確認・維持するための豚熱、オーエスキー病等の検査、監視伝染病の疑いのある家畜及び不明疾病に対する病性鑑定等を実施した。

(2) 主な検診・検査等の概要

事業名	区分	実績 (頭羽群数)	検査結果(頭羽群数)			備考
			陰性	疑陽性	陽性	
検診・検査	牛のブルセラ症	191	191	0	0	告示 0頭 告示外 191頭
	牛の結核	251	251	0	0	告示 0頭 告示外 251頭
	牛のヨーネ病	16,928	16,915	0	13	告示 8,464頭 告示外 8,464頭
	ピロプラズマ症	1,589	1,574	0	15	放牧予定牛 1,299頭 放牧牛 290頭
	EBL (牛伝染性リンパ腫)	7,855	5,523	0	2,332	抗体検査 7,161頭 遺伝子検査 694頭
	牛ウイルス性下痢(BVD)	15,703	15,649	0	54	抗体検査 7,370頭 遺伝子検査 8,333頭
	アカバネ病検査	105	105	0	0	告示 105頭
	牛伝染性疾病検査	300,355	300,355	0	0	延べ頭数
	牛海綿状脳症(採材業務)	517	517	0	0	告示 507頭 告示外 10頭
	馬伝染性貧血	5	5	0	0	告示外 5頭
	馬伝染性疾病検査	289	289	0	0	馬インフルエンザ等
	豚熱	3,179	752	257	2,170	免疫付与状況確認検査
	オーエスキー病	839	839	0	0	抗体検査
	PRRS (豚繁殖・呼吸障害症候群)	1,967	1,136	0	831	抗体検査 1,098頭 遺伝子検査 869頭
	豚流行性下痢	60	56	0	4	
	豚伝染性疾病検査	776,823	776,823	0	0	
	高病原性鳥インフルエンザ [※]	460	460	0	0	告示 360羽
	低病原性鳥インフルエンザ [※]					告示外 100羽
	家きんサルモネラ症検査	0	0	0	0	
	鶏伝染性疾病検査	12,145,218	12,145,218	0	0	鳥インフルエンザ、ニューカッスル病等
腐蛆病	986	986	0	0	告示 912群	
その他	着地検査	牛5件600頭 馬9件12頭 緬羊4件12頭	牛600 馬12 緬羊12	0 0 0	0 0 0	

(3) 家畜伝染病予防法第5条に基づく検査

ア 乳用雌牛のヨーネ病検査

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

同居の肉用繁殖雌牛も同時に実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	14	31	9	15	4	73
検査頭数						
乳用牛	1,656	1,448	542	1,381	227	5,254
肉用牛	75	87	43	8	20	233

【検査成績】3頭ヨーネ病陽性

※肉用牛農場で飼養されている乳用牛

イ 肉用雌牛のヨーネ病検査（酪農家の飼養牛を除く）

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	0	98	0	0	0	98
検査頭数	0	1,883	0	0	0	1,883

【検査成績】全頭陰性

ウ 放牧予定牛のヨーネ病検査

※公共牧場に入牧予定の乳用育成牛を検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	19	47	5	14	5	90
検査頭数	93	634	86	330	32	1,175

【検査成績】全頭陰性

エ 種畜（種雄牛）のブルセラ症、結核病及びヨーネ病検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	1	0	0	1	0	2
検査頭数	7	0	0	3	0	10

【検査成績】全頭陰性

オ 死亡牛の牛海綿状脳症（BSE）検査（法第5条に基づく検査）

管内市町及び県内・種類別の搬入状況

市町	乳用牛		肉用牛		総計
	ホルスタイン種	その他	黒毛和種	交雑種	
大田原市	36	0	17	0	53
那須塩原市	193	0	20	0	213
那須烏山市	7	0	19	0	26
那須町	19	1	22	0	42
那珂川町	6	0	4	0	10
管内合計	261	1	82	0	344
県内合計	345	1	160	1	507

【検査成績】全頭陰性

カ アルボウイルス感染症サーベイランス

病名	戸数	頭数	6月		8月		9月		11月	
			<2	2≦	<2	2≦	<2	2≦	<2	2≦
アカバネ病検査 (抗体)	9	27	<2	2≦	<2	2≦	<2	2≦	<2	2≦
			22	5	25	1	26	0	26	0
ブルータング検査 (遺伝子)	9	26	NT		-	+	-	+	-	+
					3	0	25	1	22	4

※ 大田原市2戸、那須塩原市3戸、那須烏山市1戸、那須町2戸、那珂川町1戸で実施
【検査成績】ブルータングにおいて、3戸4頭で遺伝子が検出された。

キ 蜜蜂の腐蛆病検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	7	17	4	4	10	42
検査群数	145	543	74	32	118	912

【検査成績】全例陰性

ク 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ

(ア) 定点モニタリング検査

毎月1回、管内の3農場において、6週齢以上の鶏10羽のウイルス分離検査と血清抗体検査を実施した（ウイルス分離検査は県中央家畜保健衛生所家畜衛生研究部で実施）。

対象農場	検査内容	検査成績
3戸 (那須塩原市、那須烏山市、 那須町)	ウイルス分離 (気管スワブ、クロアカスワブ) 血清抗体検査	全例陰性

(イ) 強化モニタリング検査

10月から3月にかけて、管内5農場の鶏各10羽について、各農場1回血清抗体検査を実施した。

対象農場	検査成績
5戸 (大田原市1戸、那須塩原市1戸、 那須烏山市2戸、那珂川町1戸)	全例陰性

(4) 家畜伝染病予防法第6条に基づく予防接種

ア 放牧予定牛におけるワクチン接種

牧場での感染症予防を目的として、放牧予定牛を対象として、入牧前にワクチン接種を実施している。

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	合計
接種農場数 (実数)	25	73	9	25	5	137
接種農場数 (延数)	57	230	31	73	12	403
接種頭数 (実数)	168	897	101	384	32	1582
接種頭数 (延数)	168	897	101	384	32	1582

イ 豚熱ワクチン接種

豚熱の発生予防のため、管内養豚農場を対象として、離乳豚及び繁殖豚に継続的にワクチン接種を実施している。

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	合計
接種農場数 (実数)	5	16	6	19	10	56
接種農場数 (延数)	129	244	94	356	78	901
接種頭数 (実数)	55,292	54,641	163,433	227,210	6,201	506,777
接種頭数 (延数)	55,292	54,641	163,734	227,210	6,201	507,078

(5) 家畜伝染病予防法第51条に基づく検査

ア 牛のヨーネ病検査

牛のヨーネ病防疫対策要領に基づくカテゴリーⅡ農場において、清浄化推進のための検査を実施した。

対象農場戸数	検査頭数		検査成績
	抗体検査	リアルタイムPCR検査	
6戸 (大田原市1戸、那須塩原市5戸)	3,439	3,621	10 頭患畜

清浄性が確認された農場：2戸（那須塩原市2戸）

イ 牛伝染性リンパ腫

抗体検査及び遺伝子検査により農場及び公共牧場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

検査方法	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
抗体検査	7,161	1,953	4,975
遺伝子検査	694	636	131

ウ 牛ウイルス性下痢（BVD）

抗原・抗体検査及び遺伝子検査により農場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

検査方法	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
中和抗体検査	487	417	70
ウイルス分離	469	34	435
遺伝子検査	539	35	504
抗原エライザ検査	7,370	17	7,353

(実頭数)

エ 豚熱（CSF）

豚熱ワクチンの免疫付与状況確認のために抗体検査を実施した。

検査戸数	検査頭数	検査成績
40	3,179	＋：2,170 ±：257 －：752

オ オーエスキー病

清浄化対策推進のために抗体検査を実施した。

検査戸数	検査頭数	野外抗体陽性頭数	野外抗体疑陽性頭数	野外抗体陰性頭数
26	839	0	0	839

カ PRRS（豚繁殖・呼吸障害症候群）

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
26	1,967	831	1,136

キ PED（豚流行性下痢）

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
6	60	4	56

ク ニューカッスル病

抗体検査結果をもとに適切なワクチン接種を指導した。

戸数(延)	羽数	抗体陰性羽数	抗体陽性羽数
38	380	93	287

ケ 鶏マイコプラズマ病

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

病原体名	検査戸数(延)	検査羽数	陽性羽数	疑似羽数	陰性羽数
マイコプラズマ・ガリセプチカム	17	170	114	0	56
マイコプラズマ・ソルビエ	17	170	116	0	54

コ 施設園芸用蜜蜂の腐蛆病検査

イチゴハウスで受粉に利用される蜜蜂の検査を実施するとともに、飼養者に対し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査群数	検査成績
12戸 (那須烏山市1戸、那珂川町11戸)	74	全群陰性

(6) その他の検査

ア 放牧予定牛の検査

放牧場での伝染性疾病のまん延防止のため、放牧予定牛について各種検査を実施した。

病名	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
EBL(牛伝染性リンパ腫)	1,232	291	941
ピロプラズマ症	1,138	15	1,123
BVD	1,473	1	1,472

イ 放牧牛衛生検査

管内3か所の公共放牧場において、定期的に放牧牛の衛生検査を行い、各種疾病の早期発見及び早期治療に努めた。

(7) 放牧状況

区分	大田原市 大野放牧場		那須町共同利用模範牧場	
	乳用牛	肉用牛	乳用牛	
EBL対策	EBL陰性牧区	EBL陽性牧区	EBL陰性牧区	EBL陽性牧区
放牧期間	R3.4.13～ R3.11.4	R3.5.11～ R3.10.12	R3.5.1～ R3.10.31	R3.4.21～ R3.10.30
放牧頭数	27	31	364	55
衛生検査回数	10	9	9	
主な疾病	乳頭腫		真菌症、光線過敏症 乳頭腫、趾間腐爛	
備考			周年預託牛あり	

※八郎ヶ原放牧場(休牧中)

(イ) 衛生検査検査成績

a ピロプラズマ症

(陽性頭数/検査頭数)

牧場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大野放牧場	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11
那須模範牧場	—	0/44	0/45	0/47	0/20	0/24	0/24

b 牛肺虫症

(陽性頭数/検査頭数)

牧場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大野放牧場	—	—	—	—	0/10	—	—
那須模範牧場	—	—	—	—	0/20	—	—

ウ 家畜伝染病予防法第52条に基づく報告徴求

(ア) 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザの発生予防

管内の家きん100羽以上（だちょうは10羽以上）を飼養する農場から毎月1回、1か月の死亡羽数及び産卵率の報告を求めた。

(イ) 豚熱のまん延防止

豚熱発生農場から半径10km圏内に含まれる豚及びいのしし飼養農場から、患畜確認時から防疫措置完了まで、毎日、死亡頭数及び疾病状況の報告を求めた。また、疫学関連家畜飼養農場として豚熱に関する防疫指針に基づき搬出制限が告示された農場は、搬出制限期間、毎日、死亡頭数及び疾病状況の報告を求めた。

(7) 病性鑑定

ア 市町別の病性鑑定件数及び頭羽数

(総件数：延べ165件

総頭羽数：延べ516頭羽)

畜種	大田原市		那須塩原市		那須烏山市		那須町		那珂川町		計	
	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数
乳用牛	6	45	43	128	4	20	7	14	0	0	60	207
肉用牛	18	28	45	62	3	11	12	17	3	5	81	123
馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	0	0	7	90	0	0	1	25	2	37	10	152
緬山羊	0	0	5	5	0	0	4	10	1	1	10	16
鶏	1	1	0	0	0	0	1	13	0	0	2	14
その他*	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	2	4
計**	25	74	100	285	7	31	27	83	6	43	165	516

*その他：牛、馬、豚、緬山羊、鶏以外の家畜、又は環境材料 等

**計：複数畜種を検査した場合、別々に計上（重複3件）

イ 市町別の病性鑑定検査材料別の検体数

(総検体数：761検体)

検査材料	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
糞便	40	76	24	29	2	171
死体及び生体	18	106	6	58	24	212
血液	47	165	36	29	42	319
その他*	0	57	0	2	0	59
計	105	404	66	118	68	761

*その他：鼻腔拭い液、乳汁 等

ウ 令和3年度に診断された主な感染症

下表に示すように、様々な疾病が確認されました。

畜種	症状	疾病名
牛	下痢症	牛ロタウイルス病、牛コロナウイルス病、牛エンテロウイルスによる下痢 牛大腸菌症、クリプトスポリジウム症、牛コクシジウム症
	呼吸器病	牛伝染性鼻気管炎、牛コロナウイルス病、牛パスツレラ(マンヘミア)症
	その他	牛伝染性リンパ腫、伝染性角結膜炎、クロストリジウム属菌による突然死 (悪性水腫、クロストリジウム・パーフリゲンス感染症)、マイコプラズマ性乳房炎、大脳皮質壊死症、デルマトフィルス症
豚	死亡数増加	豚熱、サルモネラ症、豚レンサ球菌症
鶏	死亡数増加	鶏コクシジウム症

(下線は監視伝染病を示す)